

8 月 15 日：資金の戻りが投資家心理を底上げ

月曜日のマーケットは投資家心理を安心させるような資金の戻りにより、VN 指数、HNX 指数が上昇した。その一方で UPCoM 指数は小幅に下落した。

ホーチミン市場の VN 指数は+0.94%の 1,274.2 ポイントとなり、リスク資産を許容する動きがみられた事で週の始まりを上昇で終えた。市場全体では上昇銘柄の方が多く、流動性も前営業日より上昇した。ホーチミン市場での出来高はおよそ 14 兆ドン（5 億 9,680 万ドル）相当の 5 億 8,600 万株となり、+15%もの上昇を記録した。

VN30 指数は主要な大型株の好調な基調により 2 営業日連続で上昇し、+3.1%の 1,293.79 ポイントとなった。30 銘柄のうち、22 銘柄が上昇、下落を記録したのはわずか 4 銘柄であった。

銀行セクターがこの強気相場に大きく寄与しており、BIDV (BID) が+4.6%と最も上昇した。ベトインバンク (CTG)、サイゴンハノイバンク (SHB)、VP バンク (VPB)、HD バンク (HDB) も同様に大きく上昇した。SHB は 7%のストップ高をつけた。

製造・小売・IT セクターもマーケットの上げを支えるように上昇した。モバイルワールド (MWG)、FPT (FPT)、サイゴンビール (SAB)、マサングループ (MSN) などが主な上昇銘柄であった。

サイゴンハノイ証券のアナリストは「短期的な視点で見ると、マーケットは好調であり、VN 指数はさらに上値抵抗線圏内である 1,260~1,285 ポイント付近まで向かう可能性が高い。」と分析している。

「一方で、長期トレンドとしては経済成長が維持されており、新たな投資機会を窺えるような低い価格帯を形成し続けている。」（同アナリスト）

ハノイ市場の HNX 指数は+0.18%の 303.97 ポイントで、出来高は 1.65 兆ドン相当の 8,110 万株であった。

その一方で UPCoM 指数は-0.22%の 92.64 ポイントでとなった。

外国人投資家はホーチミン市場で 6,519 億ドン、ハノイ市場で 2,613 億ドンの買い越しであったが、UPCoM 市場では 2,842 億ドンが売り越され、全体では 6,290 億ドンの買い越しとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。